



▲スノードライブを体験する利用者

登別の冬をもっと楽しく
カルルス温泉サンライバ
スキー場オープン

12/20

12月20日、降雪量が少なく予定より2日遅れとなりましたが、カルルス温泉サンライバスキー場が今シーズンのオープンを迎えました。

スキー場を訪れた男性は、新雪の感触を確かめるように繰り返し滑降。「オープンを楽しみにしていました。今シーズンもたくさん利用したいと思っています」と話していました。

また、新たなアクティビティ『スノードライブ』の貸し出しが始まり、今シーズンは無料で楽しむことができます。

新年の餅つきで縁起を担ぐ
元日縁起もちつき

1/1

1月1日、泉源公園（登別温泉町）で、安産や家内安全などを祈願する『元日縁起もちつき』が行われました。

1月1日の開催が恒例となっている『元日縁起もちつき』は、2年振りの開催。寒空の下、地元の有志が、笛と太鼓の音色に合わせて、きねを巧みに操りながら力いっぱい餅をつく様子に、集まった宿泊客らから大きな拍手が送られています。

また、餅つきの後には、登別温泉の宿泊券が当たる抽選会も行われ、来場者たちを喜ばせました。



▲つきあがった餅を高く掲げる4人のつき手たち

二十年の感謝を胸に
令和4年登別市成人祭

1/9

1月9日、市民会館で『令和4年登別市成人祭』を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、時間を短縮しての開催となりましたが、出席した新成人約300人は、思い思いの晴れ着に身を包み、同級生らと笑顔で再会を果たしました。

式では代表の橘弘舞さんと大山愛楓さんが壇上で周囲への感謝を述べるとともに、自身の限らない可能性を信じて社会人として羽ばたいていくことを誓いました。

また、第2部では、北海自衛太鼓による迫力の太鼓演奏が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。



▲『二十歳の誓い』を述べる橘弘舞さん（左から3人目）と大山愛楓さん（左から2人目）



▲表彰状を受け取る消防団員

地域安全の決意新たに
令和4年登別市消防出初式

1/7

1月7日、市民会館で『令和4年登別市消防出初式』を開催しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、今回は出席者に関係者のみに限定し、例年行っていた『消防職団員分列行進』や『はしご乗り』の披露はせず、感染症対策をしっかりと講じて開催しました。

式では『登別市長表彰』『北海道消防表彰』『北海道消防協会定例表彰』の受賞者の表彰も行われ、受賞者は引き締まった表情で表彰状を受け取りました。